



レクリエーションバレーと共に歩む

(尾張西支部)
永井産業株式会社
取締役常務執行役員

永井 ^{いとし}愛さん




女性部事業にて活躍されている永井さん




永井さんは永井産業(株)の取締役常務執行役員として重責を担うと共に、女性社員の働きやすい環境づくりを常に提案し、積極的に女性ドライバーの雇用促進をするなど女性社員の相談役としても頼もしい存在です。

平成元年9月に設立した女性部に設立時より参加され、「会計」を担当。本年度よりコロナ禍を乗り越え多くの事業を開催し、全国に向けて大きく動き出した女性部。役員としてもご活躍の永井さんの趣味についてお話を伺いました。

 ママさんバレーをされている、とのことですが、いつ頃から始められたのですか？

永井：最初の子どもが生まれて10か月ぐらいの時に、近所の方から一緒にバレーボールをしませんか、と誘われて始めたのがきっかけです。

 お子さんが赤ちゃんの時から始められたのですね。


永井：はい、「名古屋市女性レクリエーションバレーボール連絡協議会」(以下「女性レク・バレー」という。)に所属するチームで活動し始めました。

「女性レク・バレー」は25歳以上の女性なら誰でも参加できる生涯スポーツです。


名古屋市独自に定められルールがあり、6人制、4人が必ずボールに触る、パスアタック(攻撃的な打ち込みは×)により返球すること等が特徴です。これは、あくまでもレクリエーションバレーであるため、経験者も初心者でもみんなで楽しむことを前提としているからです。

練習場所は、小中学校の体育館や市の生涯学習センターをメインに行っています。


練習内容は、参加者の方が比較的初心者の方も多いということから、パスやレシーブなどの基礎練習をしっかりとやります。

 練習中お子さんはどうしていたの？

永井：赤ちゃんの頃は体育館の体操マットの上で寝かせていました。(笑) ハイハイしたり、歩き始めると、大きな体育館に大喜びして、遊んで走り回っていたことが思い出されます。

 お子さんは体育館で大きくなられたのね(笑)

永井：今思えば、「女性レク・バレー」をしながら子育てを楽しみ、バレーボールを通じて多くの知人ができ、とても有意義な時間を過ごせたと思っています。最初は趣味で、と始めましたが7年間続けました。

 その後もバレーボールは続けられましたか？

永井：はい、次は子どもたちが通学していた小・中学校において、「名古屋市立小中学校PTA協議会」の「PTAバレーボール」で活動しました。

参加者は名古屋市内の小中学校に通学するお子さんの父兄や、教



子どもが中学生の時、所属していたチームの優勝記念写真



「東志賀 P」チームの優勝記念写真



「東志賀 P」チームの優勝記念写真



2022年9月頃の練習風景



2022年9月頃の練習風景



現在のチームメンバー

師が参加します。各チーム男性は2名までです。

※令和4年4月1日よりチーム構成における年齢制限はなくなりました。

区ごとに大会が開催され、区大会で優勝したチームは「市Pバレーボール大会」に参加できるので、それを目標に練習を重ねていました。

「PTAバレーボール」は10年間活動し、気づいたらキャプテンも経験しました。しかし、子どもが中学を卒業しましたので、私も「PTAバレーボール」を卒業しました。振り返れば計17年ですが、あっといふ間の年月ですね。

いまは「MIXバレーボール」(男女混合)という、性別や年齢の枠がないバレーボールをしています。団体に所属しなくても活動はできますが、やはり大会に出る試合をしたいと思いましたので、団体が運営するチームに所属して活動をしています。

チームランクによってブロックが分かれていて、大会の勝敗によっ

てランクがアップダウンします。

今在籍しているチームは、15名(女性7名、男性8名)のメンバーで構成され、私のポジションはバックセンターです。

メンバーの中には親子で参加している方が3組います。うちは赤ちゃんの時から練習を見ていたはずなのですが・・・(^_^)

練習は月に10～15回ほどあり、自チーム以外に知り合いのチームのお手伝いに駆り出されることもしばしばあります。週末に重なることが多く、中には午前・午後・夜と一日中練習することもあります。

ただこの数年は、コロナ禍で体育館の利用が制限されることも増え、他の区や市外の施設へ遠征することが多かったですね。練習時は感染防止対策が徹底され、ボールは常に消毒、プレー中はマスクを外しますが、待機の時はすぐにマスク着用を厳守しています。

最近はコロナ禍であっても、状況が少しずつ緩和されてきました

ので、これからの変化に期待したいと思っています。

バレーボールへの情熱が
とても伝わってきました。
最後に一言。

永井：長い間、バレーボールを続けてこれたのは、家族の理解と協力があったからこそです。週末だけでなく平日の夜にも練習があり、家族には本当に感謝しています。

そして我が子たちには、自身のように打ち込めることを見つけてほしいなとも思います。

バレーボールは生涯スポーツともいわれ、周りでも70代でも現役で活躍されている先輩方がいます。

私自身も何歳まで元気に活動できるか分かりませんが、まだまだ人生これから、楽しんでいきたいと思っています！

仕事を持ち、業界への社会貢献、そして主婦であり、母である。その中で自身の道を歩んで来られたすてきなお話をありがとうございました。